



第 22 号
2025 年
10 月 5 日

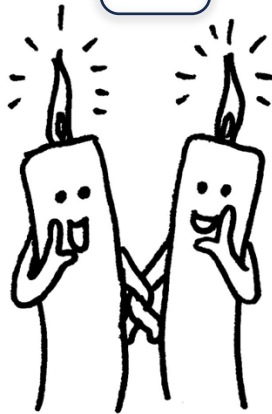
北関東教区・東京教区 合同礼拝報告

9月15日、立教大学タッカーホール（池袋キャンパス）において、立教学院との共催で合同礼拝がさげられました。高橋宏幸主教司式、西原廉太主教（中部教区主教・立教学院院長・立教大学総長）説教でさげられた礼拝には、両教区の信徒・教役者約500名が集いました。

礼拝では、多くの方々がご奉仕くださいました。アッシャーはB.S.A. 受付は教区事務所・教務所、アコライトは青年たち、聖書朗読や代祷は多様な背景をお持ちの方々、サーバーは聖職候補生たち、両教区に呼びかけ編成された合同聖歌隊「アウデアムス」など、皆様のお気持ちが集まってさげられた礼拝となりました。開催準備や会場設営、当日の施設利用に関する細かいことなどは、立教学院職員の皆様がご尽力くださいました。

礼拝後に行われた第2回「新教区設立MEETING」では、7月19日に行われた第1回に寄せられた意見や質問に対し、各小委員会から回答や「コメント」がなされました。その中で、新教区の名称案については、「東日本教区」とする方針が示されました。

参加者の声



東京教区と北関東教区による初の合同礼拝に与りました。タッカーホールに響く数百人の力強い祈りの声に包まれ、私は一体感を覚えました。二つの教区の皆さんがひとつになったと感じた礼拝でした。（参列者）

私にとって晴れて実現した合同礼拝に聖歌隊の一員として参加ができた事は、大きな喜びでした。ショー先生のご指導で、お隣には東京教区の方の歌声が響き、二つの教区が一つになる実感と恵みに与ることが出来ました。またの出会いを心待ちに主に感謝。（聖歌隊奉仕者）

新しく
ともだちができた

カスタネット
たのしかった

子どもクワイアに参加して

合同礼拝では、両教区合同の「子どもクワイア」が、聖歌447番「てをのばし しゅにふれよう」を奉唱。子どもたちの元気な歌声は、きっと主に届いたことでしょう。

大きな声で歌えた

マラカスが
楽しかった

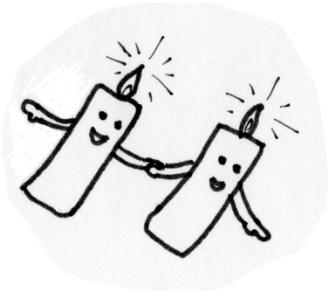
小笠原プロジェクト2025参加者の声

今年も教区の枠を超えて青年たちが集い、小笠原の旅が実施されました。この旅に参加した、青年たちの声をお届けします。

* * *

今回の旅では、小笠原の入植者たちの歴史の研究に専念しました。その歴史の中には決して綺麗事では片付けられない出来事も多くありましたが、入植者たちは単なる歴史上の人物ではなく、一人ひとりの生きた人間として存在していたのだと実感しました。そして何より大切だったのは、それを共有できる旅の仲間がいたことです。普段は教区も違う私たちが、集まってそれぞれの活動で得たものをわかちあうとき、私たちもまた単なる観光客ではなく小笠原を真摯に考える歴史の一部であったように感じます。

(東京教区 インマヌエル新生教会 道須南人)



今回の旅では多くの新しい出会いがあった。まずは、一緒に過ごしたみんな。はじめましてで約1週間過ごすのは不安な面もあったけれど、いつの間にか仲良くなれていて居心地が良かった。そして小笠原の海。こんなに美しい場所を見たことがなかった。綺麗すぎて現実味がなくて、夢かな?と何度も思った。天気に恵まれて星雲もよく見えた。山で見た星雲よりも空が大きく見えた。流れ星も願い事が全部叶いそうなくらい流れていた。全てが新鮮で感動の毎日だった。全ての出会いに感謝したいと思う。

(北関東教区 浦和諸聖徒教会 井端美緒)

小笠原の旅で、神様の創造の偉大さを全身で感じました。透き通る海や満天の星空、水平線から昇る朝日…。その一瞬一瞬が、神様がくださった命と光の恵みだと気づかされました。また、他教区の青年たちと出会い、共に賛美し、祈り合えたことは、教会が一つであることを実感する時となりました。この旅は、自然と人との出会いを通して、神様が共におられることを深く確信する機会となりました。

(横浜教区 千葉復活教会 メアリー陶花織)

★次回巡礼企画のご案内★

東京教区 聖霊教会

日 時: 10月18日(土)

(昼食は、教会が用意くださいます)

申し込み: 10月12日(日) 締切

junreiteam@googlegroups.com

きょうどう俳句・川柳

母祈り 父は讃へり 曼珠沙華

すなほ

栗だろか 柿にするかと なやむ秋

覚束ない 足取りに沸く 運動会

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有します。投稿はすべてを掲載できませんが、ご了承ください。
「晩秋」をテーマにした俳句・川柳もお待ちしております。俳号・匿名どちらでも可です。
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第22号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会